

令和5年11月14日研究公開報告

令和4・5年度大隅地区研究協力校研究公開

大崎町立中沖小学校で

「学力向上【国語科】」についての研究公開が開催されました。

令和5年11月14日（火）に、大崎町立中沖小学校にて、大隅地区研究協力校「学力向上（国語科）」の研究公開が行われました。中沖小学校は、令和4年度から2年間、「自己表現力」の育成を目指して、国語科の授業を中心に研究を進めてきました。

研究主題は「自分の思いや考えを豊かに表現できる子供の育成～説明的な文章の学習を通して～」です。当日は、主体的・対話的深い学びを意識した言語活動の設定や、言語感覚を養う日常活動と環境整備の工夫などが、研究内容として示されました。当日の公開授業では、自分の課題に、友達との対話を通して主体的に学ぶ姿が見られました。また、授業研究では、研究の視点に沿った意見交換が活発に行われました。



【閉会のあいさつ】
有留 盛昭 校長先生

【研究発表】

研修係から、常時、学習計画や学習過程を教室に掲示することで、児童が見通しをもって学習をするようになったことや、発達の段階に応じた三角ロジック、ペンタゴン・ロジックを活用することで、児童が自分の考えを、理由を添えて発表できるようになったと紹介がありました。

また、児童の言語感覚を養うために、朝の会でコミュニケーションタイムを設けたり、授業中の意見交換で使ったワークシートを掲示したりすることで、多様な考え方があることを知り、積極的にコミュニケーションをとるようになったことを分かりやすく説明されました。



【研究発表の様子】

【授業研究】

授業研究では、2つの視点「言語活動の充実」と「確実な見届け」で協議が行われました。参加者からは、「主体的な学習になるように、課題に対する目的意識・相手意識を児童にもたせていた。」「児童が学び合いを通して、様々な視点を学んでいた。」など、中沖小学校の取組の成果が、当日の授業にも出ていたとする意見が数多く出されていました。



【授業研究の様子】

【公開授業：第2・4学年 国語】

単元 2年「せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう」
（教材名「馬のおもちゃの作り方」他 光村図書5年）

2年生は、自分が説明するおもちゃの作り方の順番を工夫したり、どのような表現の工夫をしたりしたら、みんなが分かるようになるかを考える授業でした。児童は、文章を書き始める前に学んだことを想起し、友達の文章から、更なる表現のよさを学ぶなど、主体的に学習に取り組んでいる姿が印象的でした。意見交換では、三角ロジックを使って自分の意見を発表する姿も見られました。



【2年生の様子】

単元 4年「中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう」
（教材名「世界にほこる和紙」他 光村図書4年）

4年生は、よりよい要約文を書くためにはどうすればいいか、友達の要約文から工夫を見つけていく授業でした。タブレット上に寄せられた友達の意見を比べ合うことで、自分の考えを深め、よりよい要約文を書く工夫を見付けることができました。言語活動を通して、要約文を書く視点を確認するとともに、言葉と言葉の関係、言葉の働きや使い方も意識することができました。



【4年生の様子】